



世代を超えて つながる

エリック・カールさんの訃報に、いてもたってもいられない方々が当店に足を運んでくださっています。まず**新聞記者さん**。1992年に来日した際、この店を訪れたカールさんとのつながりを取材し、記事にしてくださいました。「橋村さんが悲しんでいる」と心配してきてくれた子どもたち、カールさんの絵本大好きな**子どもたち、親御さん、おじいちゃん、おばあちゃんたち**、それぞれが絵本の思い出を語ったり、新たな絵本を手にしたりしてカールさんを偲びました。国を超え、世代を超えた人々の心をつかんだ偉大な作家であったことを改めて思います。

そんな折、カールさんの翻訳をしている**アーサー・ビナードさん**のトークイベントをゴーリキマリンビレッジで行いました。潮風混じりの空気、ゆつくり夜に向かう景色、開放的な野外会場は、今の鬱屈した現実社会から心を解放させてくれるようでした。第五福竜丸で**アーサーさん**とつながる**(株) ゴーリキさん**をはじめ、たくさんの方にご協力をいただきながらの開催でした。

※ホームページでも紹介しています。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



えほんと童話の店 **みやがわ書店**
 〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)
 電話・FAX 0596-22-4317 Eメール ehonbaba@gmail.com
 定休日 毎週日曜日・木曜日 営業時間 AM10:00~PM6:00
 ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>



本当にありがとうございました!さまざまな「つながり」を強く感じた1ヶ月でした。さて、このような「つながり」の原点から今に至る「みやがわ書店 店主橋村孝子」の足跡が、**6月4日付の中日新聞『この人』**に掲載されました。(さつき)

(以下、新聞記事より抜粋)
 「戦後に移った伊勢市で両親が書店を開業。結婚して住んだ名古屋市では『幼児と文学研究所』に通い、絵本の魅力に触れた。1977年に帰郷して家業を引き継ぎ、還暦を機に絵本専門店にした。」
 「親子や大人向けの読み聞かせ会をはじめ、戦争経験者として絵本を通じて平和を伝える会、県内外で絵本に関する講演会も開くなど、活動は多岐に及ぶ。」

2021年6月4日 中日新聞



みやがわ書店 タイトル 二見正直 あわこれ

6月9日 店の表看板が変身!

絵本作家二見正直さんの手によって『まっぴのりこ 紙芝居Q&A』にある紙芝居舞台と小人ちゃんの絵を描いていただきました。とっても明るく可愛い看板になりました。



6月15日 二見正直コーナー拡充!

絵本だけでなく、ミニエッセイ『絵本作家の思い出1』、そして絵画作品も加わりました。(お求め御希望の方はスタッフまで)



翻訳家・野坂悦子さんを招いて
8月7日 《昼の部》 14時~15時
 『野坂悦子さんの絵本と紙芝居』
 小学生のみなさん大歓迎!
 於みやがわ書店
《夜の部》 19時~21時
 『絵本と紙芝居で平和を語ろう!』
 定員20名 参加費1,000円
 於みやがわ書店

詳しくは店頭にて。チラシ等をお渡しいたします。

野坂さんの主な翻訳作品
 『がれきの中の小鳥』『ちいさなへいたい』『ぼくといっしょ』『やさしいまものバツパー』他



お知らせ

2021 7

日	月	火	水	木	金	土
				1 定休日	2	3
4 定休日	5	6 おはなし会	7 紙芝居 ピッポの会 ミニ講座	8 定休日	9	10 おはなし会
11 定休日	12	13 大人のための 絵本の時間	14	15 定休日	16	17
18 定休日	19 おはなし会	20	21	22 営業します	23 営業します	24 おはなし会
25 定休日	26	27	28	29 定休日	30	31



おはなし会

6日(火) 11:00~
 10日(土) 14:00~
 20日(火) 11:00~
 24日(土) 14:00~

大人のための絵本の時間

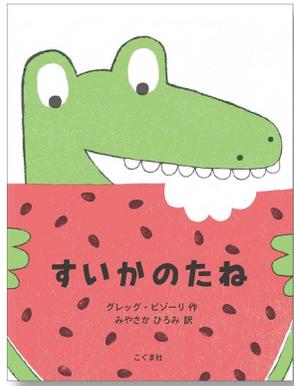
13日(火) 10:00~

紙芝居ピッポの会ミニ講座

7日(水) 10:00~

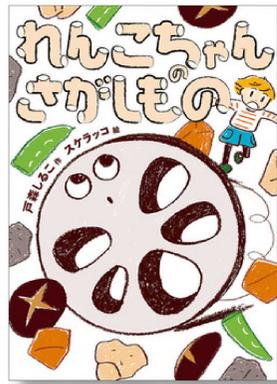
絵本作家二見正直 原画展

期日 7月1日~ 8月29日
 於 多気町立勢和図書館



「すいかのたね」
グレッグ・ビゾーリ 作
みやさか ひろみ 訳
こぐま社 1,100円

暑い夏に食べるスイカの美味しいこと!! 「すいか、さいこう!」でもスイカには種がいっぱい。ワニくんうっかり飲み込んだ。そうして考えることはといえば…ワニくんは心配になってきました。



「れんこんちゃんのさがしもの」
戸森しるこ 作
スケラッコ 絵
福音館書店 1,320円

れんこんの女の子が「にものになるのは、いやっ」と言って“なりたいもの”を探しにでかけます。れおくんもそばで応援するのですが…ところで、なぜ煮物が嫌なの?その理由に心当たりがある人もいるのでは?

新刊紹介

タイトル
二見正直



「みちとなつ」
杉田比呂美 さく
福音館書店 1,540円

人と人が出会うのは、偶然の積み重ねであり、それぞれの一瞬が奇跡的に重なる不思議を感じる本です。一方で、この出会いは会うべくして会ったのだとも思えるのです。



「カイマンのダンス
～アマゾンのおはなし～」
市川里美
BL出版 1,540円

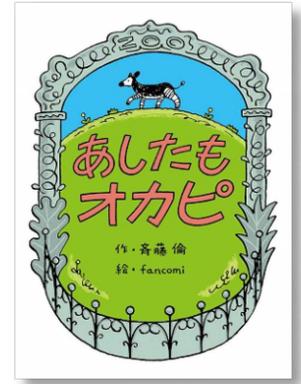
カイマンとはアマゾン川に住むワニのこと。自分たちとはちがう生活をする人たち、違う価値観を持つ人たちに会った驚きや心に残ることを絵本に描く、“市川里美の世界を旅する絵本シリーズ”最新刊。

斉藤倫さんの新作2冊



「さいごのゆうれい」
斉藤倫
西村ツチカ 画
福音館書店 1,870円

「誰もが私たちが忘れてしまい、強く思うことがなくなれば」「次第にゆうれいはゆうれいではなくなる」。優しさとかなしみの広がる“ゆうれい”のおはなし。小学校高学年から。大人の心にも響きます。

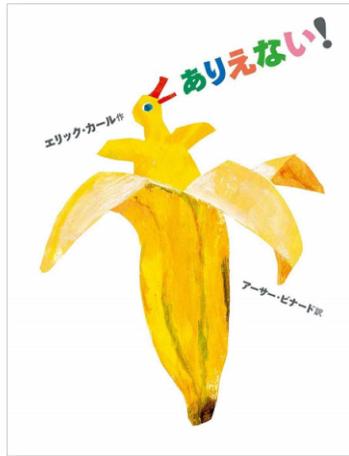


「あしたもオカピ」
作 斉藤倫
絵 fancomi
偕成社 1,320円

「よつば月」の夜は動物たちの願いが何でもかなうらしい。不思議な模様の動物オカピの願いとは?幼年向き読み物。

※金額はすべて税込です

大人コース



「ありえない!」
エリック・カール 作
アーサー・ビナード 訳
偕成社 1,760円

見開き1ページが1舞台。いろいろなものが次々とナンセンスショーを展開します。

ネズミが猫をひもでつなぐ?自分を映した鏡、そこにはゴリラが映ってる! そんなこと「ありえない!」

そもそも、愛と平和を物語るカールさんの本として「ありえない!」

15年間カールさんの本を翻訳してきたアーサーさんは言います。

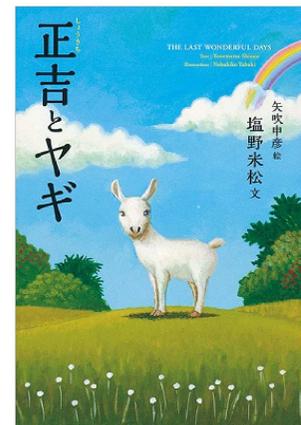
「カールさんはこの本で何を残したかったのか。子ども達が絵を楽しみ、言葉を楽しみ

ながら、現実社会の言動のギャップを見抜くこと、逆転や矛盾の中から本質を見抜くこと、そんな力がこれからの社会を生きていく子どもたちには必要なのだと考えていた。」

「ありえない!」ショーは見方によっては「ありえないカモ」。今、正しいとしていることでも、もしかしたらそうでないカモ…

子どもたちの幸福と発展を願う作者カールさんを信じて読んでみてください。

(さつき)



「正吉とヤギ」
塩野米松 文
矢吹申彦 絵
福音館書店
1,540円

6才の少年正吉と、おじいからもらった子ヤギが心を通い合わせていくおはなし。けれども、読みながらも何か不安がつきまとうのです。そしてその結末が…。淡々とした語り口に、かえって作者の怒りを感じます。

新刊紙芝居



「ワーニーはみがきできるかな」(8場面)
脚本・絵 いたうみき
童心社 1,540円

ワーニーの歯をきれいにしてくれていた友だちのツッキーがひっこしてしまいました。そのうちワーニーの歯はたいへんなことに…。